

令和 8 年度

島根大学総合理工学部編入学
学 生 募 集 要 項

〔 一 般 入 試
推 薦 入 試 〕

(3 年次入学)



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

目 次

1	募集学科及び募集人員	1
2	出願資格	1
	(1) 一般入試	1
	(2) 推薦入試	2
3	出願手続	2
4	入試方法及び日程	3
	(1) 一般入試	3
	(2) 推薦入試	4
5	配点	4
	(1) 一般入試	4
	(2) 推薦入試	4
6	学力試験等の内容及び採点・評価の基準	5
	(1) 一般入試	5
	(2) 推薦入試	6
7	合否判定の基準	6
	(1) 一般入試	6
	(2) 推薦入試	6
8	試験場	6
9	入学検定料の返還	7
10	注意事項	7
11	合格者の発表	7
12	障がい等のある入学志願者との事前相談	7
13	入学手続等	8
14	授業料	8
15	入試に関する情報提供	8
16	編入学入試実施状況	9
17	個人情報の取扱い	10
18	編入学の時期及び単位認定等	10
19	学生支援制度	10

学 部 案 内

1	学部の内容	12
2	総合理工学部の卒業要件	17

不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により、学生募集要項等で公表した入学者選抜試験の方法による実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験日時、選抜方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下のホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

島根大学入試情報ホームページ

<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

1 募集学科及び募集人員

学 科	募 集 人 員	
	一般入試	推薦入試
物 理 工 学 科	12 名	
物 質 化 学 科		若干名
地 球 科 学 科		
数 理 科 学 科		
知 能 情 報 デ ザ イ ン 学 科		若干名
機 械 ・ 電 気 電 子 工 学 科		
建 築 デ ザ イ ン 学 科		若干名

- 1 物理工学科，地球科学科，数理科学科及び機械・電気電子工学科は，推薦入試による募集を行いません。
- 2 募集人員は，一般入試と推薦入試を合わせて 12 名です。
- 3 各学科の詳細については，「学部案内」（12～16 ページ）を参照してください。

2 出 願 資 格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者としします。

- ① 大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 短期大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ③ 高等専門学校を卒業した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ④ 修業年限 4 年以上の大学に 2 年以上在学し，62 単位以上修得した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 2 年以上在学となり，62 単位以上修得見込みの者。
(ただし在学期間に休学期間は含めないものとする)
- ⑤ 専修学校の専門課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 90 条第 1 項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
- ⑥ 高等学校，中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち，文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者(学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 90 条第 1 項に規定する者に限る。)
- ⑦ 外国において，学校教育における 14 年以上の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修了した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに修了見込みの者で，前記①，②，③の各号のいずれかに相当すると認められるもの

【注意事項】

- 1 出願資格⑦により出願を希望する者については，令和 7 年 7 月 11 日(金)までに松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)に照会してください。
- 2 物理工学科に出願できる者
現に在学する学校等の所属学科又は卒業した学科が、物理系、応用物理系、物理工学系、機械系、電気系、電子系、材料工学系、あるいはこれらに準ずる物理工学科で学ぶ内容と関連性の深い分野に限ります。準ずる分野の者は令和 7 年 7 月 11 日(金)までに松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)に照会してください。
- 3 物質化学科に出願できる者
現に在学する学校等の所属学科又は卒業した学科が、化学か化学関連系に限ります。化学関連系の者は令和 7 年 7 月 11 日(金)までに松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)に照会してください。
- 4 機械・電気電子工学科に出願できる者
現に在学する学校等の所属学科又は卒業した学科が、電気・電子系，機械系，制御系及び情報・通信系のみとします。

(2) 推薦入試

(物質化学学科, 知能情報デザイン学科, 建築デザイン学科)

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- ① 高等専門学校を令和8年3月31日までに卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ② 短期大学を令和8年3月31日までに卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身短期大学長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ③ 高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを令和8年3月31日までに修了見込みの者（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する者に限る。）で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物及び学力ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者
- ④ 高等専門学校、短期大学若しくは大学を卒業した者又は高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者で、企業等に在職する社会人のうち職場の所属長が、人物及び勤務成績ともに優秀であると認め、責任を持って推薦する者

【注意事項】

物質化学学科に出願できる者

現に在学する学校等の所属学科又は卒業した学科が、化学か化学関連系に限ります。化学関連系の者は令和7年7月11日（金）までに松江地区学部等事務部学務課（総合理工学部入試担当）に照会してください。

3 出 願 手 続

① 出願期間

令和7年7月28日（月）から8月1日（金）午後5時まで。

② 出願方法

志願者は、次の③の書類をとりそろえて出願期間内に「書留・速達」郵便により提出してください。出願期間内に必着としますが、これ以降に到着したものについては、7月31日（木）までの消印のあるものに限り受理します。

なお、郵送する場合には、封筒に「総合理工学部編入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類の持参は、出願期間の最終日8月1日（金）のみ9時から17時まで学務課（学生センター4番窓口）にて受け付けます。

③ 出願書類

入 学 志 願 票 写 真 票 ・ 受 験 票	本学所定の様式を使用し、写真2枚（入学志願票：1枚、写真票：1枚）を貼付したもの。
卒業（修了）証明書又は 卒業（修了）見込証明書	最終学校等の長が発行した卒業（修了）証明書又は在籍する学校等の長が発行する卒業（修了）見込証明書 ただし、 出願資格(1)一般入試の④で出願する者は、在学又は在籍期間証明書（休学期間がある場合は、その期間が明記してあるもの。様式随意） 出願資格(1)一般入試の⑤で出願する者は、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了したことが分かる証明書 出願資格(1)一般入試の⑥又は出願資格(2)推薦入試の③、④で出願する者は、本学所定の様式を使用し、学校長が発行する証明書
成 績 証 明 書	最終出身学校又は現に在籍する学校等の長が作成した成績証明書で厳封したもの。 ただし、出願資格(1)一般入試の④で出願する者のうち、62単位修得見込みの者は、修得見込みの科目及び単位数（様式随意）が分かる証明書等を添付すること。 数理科学科を志願する者は、成績証明書等に記載されている数学に関する科目のシラバスの写しを全て添付すること。
推 薦 書 (推 薦 入 試 の み)	本学所定の様式を使用し、推薦する学校等の長が作成し、厳封したもの。

出 願 承 諾 書 (推 薦 入 試 の み)	本学所定の様式による出願承諾書 出願資格(2)推薦入試の④で出願する者のみ
入 学 検 定 料 振 込 金 証 明 書	入学検定料 30,000 円 (※災害等による入学検定料免除の特例措置を希望される方は、7月28日(月)までに申請する必要があります。本学ホームページ (https://www.shimane-u.ac.jp) の「入試情報」→「学部入試」→「入学検定料免除について」をご確認ください。) 本学所定の振込依頼書等用紙の留意事項に沿って、金融機関窓口で所定の取扱期間中に同用紙により振り込んでください。振込手続後、窓口で返却された「Ⅲ票 振込金証明書(島根大学提出用)」を同封してください。 なお、特例措置により検定料免除を許可された場合は不要です。 ※検定料の返還については、7ページを参照してください。
返 信 用 封 筒	受験票等を送付する際に使用しますので、長形3号(12cm×23.5cm)の封筒に志願者の郵便番号、住所、氏名を記入し110円分の切手を貼付したもの
あ て 名 票	合格通知書及び入学手続書類等を送付する際に使用しますので、すべてに住所、氏名及び郵便番号を記入してください。

④ 提 出 先

〒690-8504 松江市西川津町 1060

島根大学松江地区学部等事務部学務課 総合理工学部入試担当 電話 (0852) 32-6042

4 入試方法及び日程

(1) 一般入試

① 入試方法

一般入試は、成績証明書及びその他の書類、口頭試問、面接により総合的に判断します。

② 学力試験等の内容・日程

口頭試問、面接等は次のとおりの内容及び日程により行います

学 科	令和7年9月5日(金)		
物 理 工 学 科	受付 8:20~8:40 試験 9:00~	口頭試問(プレゼンテーション)・面接	
物 質 化 学 科		口頭試問(化学)・面接	
地 球 科 学 科		口頭試問(地学)・面接	
数 理 科 学 科		口頭試問(数学)及び面接	
知 能 情 報 デ ザ イ ン 学 科		口頭試問(情報科学)及び面接	
機 械 ・ 電 気 電 子 工 学 科		面接	
建 築 デ ザ イ ン 学 科		面接	

(2) 推薦入試

① 入試方法

推薦入試は、成績証明書及びその他の書類、面接により総合的に判断します。

② 日程

学 科	令和7年9月5日(金)		
物 質 化 学 科	受付 8:20~8:40 試験 9:00~	面接	
知 能 情 報 デ ザ イ ン 学 科			
建 築 デ ザ イ ン 学 科			

5 配 点

(1) 一般入試

学 科	口頭試問	面接	書類審査	合計
物 理 工 学 科	プレゼンテーション 30	20	50	100
物 質 化 学 科	化学 50	50	——	100
地 球 科 学 科	地学 40	40	20	100
数 理 科 学 科	口頭試問(数学)及び面接 60		40	100
知能情報デザイン学科	口頭試問(情報科学)及び面接 75		25	100
機械・電気電子工学科	——	50	50	100
建 築 デ ザ イ ン 学 科	——	30	70	100

(2) 推薦入試

学 科	面 接	書類審査	合 計
物 質 化 学 科	100	——	100
知 能 情 報 デ ザ イ ン 学 科	75	25	100
建 築 デ ザ イ ン 学 科	10	90	100

6 学力試験等の内容及び採点・評価の基準

(1) 一般入試

学 科	科目等	学力試験等の内容及び採点・評価の基準
物 理 工 学 科	口頭試問 (プレゼンテーション) ・面 接	各志願者に対して、3～4名の面接委員で20分程度の口頭試問・面接を行います。口頭試問では、プロジェクター(PCは各自用意してください)を用いた口頭発表(5分程度)を課し、その後で内容に関する質疑応答を行います。口頭発表の内容は、入学後に卒業研究で希望する研究内容(目的、方法、実施計画等)に関することです。研究内容に対する理解力、論理的思考能力、学習意欲などを評価します。面接では、意欲、適性を評価します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
物 質 化 学 科	口頭試問 (化 学) ・面 接	各志願者に対して、3～4名の面接委員で30分程度の口頭試問・面接を行います。化学に関する適性、理解力、思考力、意欲、好奇心を評価します。また、成績証明書等の記載内容を評価の参考にします。
地 球 科 学 科	口頭試問 (地 学) ・面 接	各志願者に対して、複数名の面接委員で1時間程度の口頭試問・面接を行います。まず、大学1・2年程度の地学(気象と天文を除く)の内容を問い、修得度と理解度、さらに科学的思考能力について評価します。面接では、志願者の地学(気象・天文を除く)及び関連分野に関する経験・体験と学習意欲、理解力、論理的思考能力などを評価します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
数 理 科 学 科	口頭試問 (数 学) 及び 面 接	各志願者に対して、複数名の面接委員で30分程度の口頭試問及び面接を行います。数学に対する学習意欲、思考能力及び適性をみます。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
知能情報デザイン学科	口頭試問 (情報科学) 及び面接	各志願者に対して、3名以上の面接委員で30分程度の口頭試問及び面接を行います。情報科学について、大学1・2年程度の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
機械・電気電子工学科	面 接	各志願者に対して、数名の面接委員で10分程度の面接を行います。機械工学および電気電子工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考能力、理解力、表現能力を評価・点数化し、志願者の得点とします。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
建築デザイン学科	面 接	各志願者に対して、数名の面接委員で10～15分間行います。各面接委員が、学修意欲(専門分野に対する熱意)、論理的思考力、理解力、適性、表現能力、人物を点数化し、その合計点を志願者の得点とします。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。

(2) 推薦入試

学 科	科目等	面接等の内容及び採点・評価の基準
物 質 化 学 科	面 接	各志願者に対して、3～4名の面接委員で20～30分間行います。化学に関する適性、理解力、思考力、意欲、好奇心を評価します。また、成績証明書等の記載内容を評価の参考にします。
知能情報デザイン学科	面 接	各志願者に対して、3名以上の面接委員で15分程度行います。情報科学の内容の理解度、論理的思考能力、表現能力、学習意欲を評価し、点数化します。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。
建 築 デ ザ イ ン 学 科	面 接	各志願者に対して、数名の面接委員で10～15分間行います。各面接委員が、学修意欲（専門分野に対する熱意）、論理的思考力、理解力、適性、表現能力、人物を点数化し、その合計点を志願者の得点とします。
	書類審査	成績証明書等の記載内容を評価します。

7 合否判定の基準

(1) 一般入試

学 科	合 否 判 定 の 基 準
物 理 工 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
物 質 化 学 科	
地 球 科 学 科	
数 理 科 学 科	
知能情報デザイン学科	
機械・電気電子工学科	
建 築 デ ザ イ ン 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とします。

(2) 推薦入試

学 科	合 否 判 定 の 基 準
物 質 化 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
知能情報デザイン学科	
建 築 デ ザ イ ン 学 科	

8 試 験 場

島根大学総合理工学部（松江市西川津町1060）
 巻末の「松江キャンパス案内図」を参照してください。

9 入学検定料の返還

納入された入学検定料は、以下の①～③の場合を除き、いかなる理由があっても返還することができません。

① 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合

該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。

② 入学検定料を振り込み後、島根大学に出願しなかった場合

③ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記②又は③に該当した場合は、本人の申し出により納入された入学検定料を返還することができますので、令和7年8月22日（金）までに財務部経理・調達課出納担当（TEL0852-32-6029）へ連絡（土曜日、日曜日、祝日及び8月13日（水）～8月15日（金）を除く午前9時から午後5時までの間）してください。なお、返還の手続を行う際に「Ⅱ票 振込金受取書（志願者保管）」及び「Ⅲ票 振込金証明書（島根大学提出用）」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。この用紙がないと振込事実の確認ができず、返還できないことがあります。

10 注 意 事 項

(1) 受験者は、試験当日必ず受験票を持参してください。

(2) 以下のいずれかに該当する場合、入学許可を取り消します。（入学料は返還しません。）

ア 入学許可後、出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合

イ 「卒業（修了）見込み」又は「修業年限4年以上の大学に2年以上在学（休学期間を除く）」し、62単位以上修得見込み」で出願した者が、令和8年3月31日までに要件を満たさなかった場合

11 合格者の発表

(1) 合格者の発表は、次のとおり行います。

入試区分	日 時
一 般 入 試 推 薦 入 試	令和7年9月19日（金） 午前11時

島根大学ホームページの入試情報に合格者の受験番号を掲載します。

URL <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

(2) 合格者には、合格通知書を送付します。

合格者は、合格通知書に併せて送付する入学確約書に署名、押印のうえ、令和7年10月3日（金）までに松江地区学部等事務部学務課（総合理工学部入試担当）へ提出してください。

なお、期日までに提出がない場合は、入学の意志が無く、入学を辞退したものとして取り扱います。

(3) 欠員補充方法

入学者が入学定員に満たなかった場合には、合格者を追加することや第2次募集をすることがあります。

【注意事項】

電話、メール等による合否に関する問い合わせには、一切応じません。

12 障がい等のある入学志願者との事前相談

本学部に入学を志願する者で、障がい等（視覚障がい、聴覚・言語障がい、肢体不自由、病弱・虚弱、重複障がい、発達障がい、精神障がい、その他の障がい等）があり、受験上及び修学上配慮を必要とする場合は、以下により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合は、本学での検討及び準備に要する期間が必要なため、事前相談の期限までにご連絡ください。

なお、上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合も、以下に準じて相談先までお知らせください。

(1) 相談の方法

本学所定の様式に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し、「(2) 事前相談の期限」までに「(3) 相談先」へ提出してください。本学が必要と認めた場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

(2) 事前相談の期限

本学からの回答書の送付までに3週間程度かかりますので、7月4日(金)までに相談してください。

(3) 相談先

島根大学松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)

〒690-8504 松江市西川津町1060

電話 (0852) 32-6042

13 入学手続等

(1) 入学確約書の提出

合格者は令和7年10月3日(金)までに、「入学確約書」を松江地区学部等事務部学務課(総合理工学部入試担当)へ提出してください。なお、期日までに入学確約書の提出がない場合は、入学の意志がなく、入学を辞退したものとみなします。

(2) 入学手続き

入学確約書を提出した者には、入学手続に関する「入学案内」を11月下旬に送付しますので、定められた期間内に入学手続きを行ってください。

①手続期間

令和7年12月8日(月)～12月12日(金)

②必要経費

入学金 282,000 円(予定額)

【注】入学手続時までに入学金の改定が行われた場合には、新たな入学金が適用されます。

14 授業料

(1) 授業料の額 (前期分) 267,900 円 (後期分) 267,900 円 [年額 535,800 円]

【注】入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。

(2) 授業料の支払方法

授業料の支払いは、預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

15 入試に関する情報提供

令和8年度入試については、次のとおり公表します。

(1) 合格者成績情報

募集単位ごとに合格者の最高点、最低点及び平均点を本学のホームページにより、令和8年4月中に公表します。ただし、募集人員または合格者が10人程度の場合など、公表すると個人が特定できるような場合は公表しません。

(2) 申請により本人に提供する情報

受験者のうちで、試験成績の提供を希望する者には、本人からの申請により科目ごとの得点及び総合順位(ランク区分)を通知します。

○申請時必要書類

1 入試情報提供申請書

島根大学ホームページからダウンロードしてください。

2 島根大学受験票

受験票は正本のみとし、写しは不可です。なお、提供通知の際に返却します。

3 返信用封筒（長形3号〔12cm×23.5cm〕）

封筒には、必ず申請者本人の住所、氏名を明記し、簡易書留分の切手（460円）を貼ってください。

※郵便料金は変更になることがあります。

○注意事項

1 申請は、郵送のみとします。

2 申請期間は、令和8年5月1日から5月31日17時必着とします。ただし、土曜、日曜及び祝日を除きます。

3 申請書の記入は、必ず本人が自書してください。

4 入試情報提供の通知は、郵送により行います。

なお、通知書の発送は、申請書の提出後1ヶ月程度を要します。

5 総合順位のランク区分は、上位から10名単位を1ランクとして表記します。

(3) 問合せ先

教育・学生支援部 入試課 TEL：(0852) 32-6073 FAX：(0852) 32-9726

E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

16 編入学入試実施状況

(1) 令和7年度 一般入試

学科	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
物理工学科	12	4	4	4	3
物質化学科		0	0	0	0
地球科学科		1	1	0	0
数理科学科		4	4	1	1
知能情報デザイン学科		8	6	1	1
機械・電気電子工学科		21	20	7	4
建築デザイン学科		15	15	2	2
計	12	53	50	15	11

(2) 令和7年度 推薦入試

学科・系	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
物理工学科	若干名				
物質化学科		0	0	0	0
地球科学科					
数理科学科					
知能情報デザイン学科		8	8	3	3
機械・電気電子工学科					
建築デザイン学科		4	4	4	4
計	若干名	12	12	7	7

※ 物理工学科，地球科学科，数理科学科及び機械・電気電子工学科は，推薦入試による募集を行っておりません。

17 個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について，次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜，合格通知，入学確約書を提出した合格者への入学前連絡及び入学手続きを行うために利用します。

また，同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍管理，修学指導，教育課程の改善等），学生支援関係（健康管理，授業料免除，奨学金申請，就職支援等），授業料徴収等に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

なお，取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は，本学の個人情報取扱規則等に従い，適切に管理します。

島根大学における個人情報の取扱いについては下記のURLを参照してください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

18 編入学の時期及び単位認定等

(1) 編入学の時期 令和8年4月

(2) 第3年次に編入学した者の修業年限は2年で，在学できる年限は4年となります。

(3) 入学前に修得した単位の認定

第3年次に編入学した者が入学前に修得した単位は，授業内容を審査し，本学部の授業科目と同等と認めるものについて，個別に認定します。また，一部科目については，卒業に必要な単位を修得したものと一括認定します。詳細については，入学確約書を提出した者に対して，別途通知します。

なお，単位の認定状況によっては，第3年次に編入学しても，2年間で卒業できないこともあります。

19 学生支援制度

(1) 入学料減免，授業料減免制度について

大学等における修学の支援に関する法律に基づき，高等教育の修学支援新制度により，日本学生支援機構の給付奨学金及び入学料減免，授業料減免を受けることができます。

① 編入学前の大学等において本制度の支援を受けている方

引き続き本制度の支援を受けるためには，入学後に給付奨学金の継続手続き及び入学料減免，授業料減免申請を行う必要があります。ただし，入学料減免については本制度による入学料減免を受けたことがない方に限ります。

② 編入学前の大学等において本制度の支援を受けていない方

入学後に給付奨学金及び入学料減免、授業料減免申請が可能です。本制度の詳細は以下のホームページでご確認下さい。

制度の詳細（文部科学省 HP）

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>

給付奨学金シミュレーション（日本学生支援機構 HP。制度の対象になるか大まかに調べることができます。）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>

（2）入学料徴収猶予制度について

次のいずれかに該当する方については、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により支払期限までに入学料の支払いが困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、支払期限までに入学料の支払いが困難であると認められる方

（3）授業料等奨学融資制度について

学生が、本学の提携銀行である山陰合同銀行から、当該期の授業料相当額及び入学料相当額の融資を受け（本学及び銀行の審査があります）、卒業後返済する制度で、授業料及び入学料の支払いに困らないよう学生への支援の一つとして設けたもので、制度の概要は次のとおりです。

【制度の概要】

- ① 在学中は、本学が奨学援助金として利息を負担し、銀行へ支払います。
- ② 授業料免除申請をしている方は授業料相当額の融資の申請はできません。ただし、免除結果が全額免除とならなかった場合は申請が可能です。
- ③ 入学料相当額の融資の申請は、入学料徴収猶予が許可された方に限ります。
- ④ 本申請の時期は、前期は7月上旬、後期は1月上旬を予定しています。
- ⑤ 日本学生支援機構等の奨学金利用者も申請できます。
- ⑥ 学生が山陰合同銀行と融資契約を締結します。

（4）奨学金制度について

毎年、多くの学生が、日本学生支援機構、地方公共団体、民間の事業団体による育英制度の奨学金の貸与又は給付を受けています。

地方公共団体の奨学金は、都道府県市区町村の教育委員会、民間の団体等の奨学金は財団等で直接取り扱っているケースも多いので、各奨学金事業実施団体のホームページや日本学生支援機構ホームページの奨学金情報を確認してください。

（5）学生教育研究災害傷害保険制度について

この保険は、インターンシップ・介護体験活動・教育実習等を含む学生の正課中、学校行事中・課外活動中及び学校施設内などでの教育研究活動中の急激かつ偶然な外来の事故により身体に傷害を負った場合に保険金が支払われるものです。

また、同じく上記活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物の損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われる学生教育研究賠償責任保険というものもあり、本学では両方への加入をお勧めしています。

（6）住まいについて

学生生活に適したアパート・マンション等の斡旋を島根大学生生活協同組合が行っています。

（7）その他

（1）～（6）に関する詳細については、入学確約書を提出した者に対して送付する「入学案内」でお知らせします。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

島根大学が目指す教育は、次のとおりです。

- ・ 自然のしくみ、社会の歴史と構造、豊かな学術文化、人間への理解を深める教育
- ・ 幅広い知識、広い視野、総合的な判断力を身に付け、豊かな世界観をはぐくむ教育
- ・ 自らの社会的役割に対する自覚を深め、現代社会を担う専門的力量を高める教育

《求める人材像》

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、豊かな人間性と高度な専門性を身につけ、世界的視野を持って平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成するため、次のような学生を国内外から求めます。

島根大学は、次のような人を求めます。

- ・ 自然、社会とその歴史、学術文化、人間への理解を深めようとする知的好奇心が旺盛な人
- ・ 人と社会へのつながりを大切にし、専門的力量を高めようとする人
- ・ 地域及び現代社会の諸課題に目を向け、積極的に関わろうとする人
- ・ 高等学校段階の基礎的な学力を十分に身につけ、入学する学部・学科で必要とする教科・科目で優れた学力を有する人

学部案内

1 学部の内容

理 念

21 世紀の知識基盤社会においては、新たな知の創出と知の活用による更なる科学技術の発展が求められています。総合理工学部は、理学、工学の教育・研究を基盤に、従来の枠組みを超えた分野間の有機的な連携を図り、新たな視点に立った理工融合型の教育・研究を推進します。これにより総合的視野をもった創造力豊かな人材の育成を目指すと共に、新たな科学技術の開拓を通して社会の持続的発展に寄与します。

目 標

1. 専門的基礎学力と総合的視野をもった活力ある人材の育成
 - ・ 理工学の専門的基礎教育を展開する中で、基礎力、応用力と共に理工融合的視点（理学的発見あるいは課題を工学的視点から捉え、工学的課題を理学的視点から捉えること）を育て、総合的視野をもった創造力豊かな人材を育成します。
 - ・ 変革する社会の中で自立して活動できる判断力、コミュニケーション能力、国際的視野をもった人材を育成します。
 - ・ 豊かな教養や倫理観をもち、人類社会や地球環境とのかかわりについて総合的に考え判断できる能力をもった人材を育成します。
2. 特色ある国際的水準の研究の推進

理工学の先端的・学際的研究、従来の枠組みを超えた連携による理工融合型研究、地域課題に立脚した研究など、特色ある研究を高度に推進し、教育に資します。
3. 国際交流の推進

研究成果の世界への発信、国際学術交流、国際共同研究、留学生の受入れ等を積極的に図り、国際的に魅力ある教育研究を推進します。
4. 地域をはじめとする社会貢献の推進

社会の中核となる有為な人材を社会に送り出すと共に、研究成果の社会への還元・普及を図ります。特に地域の活性化のために、地域社会との連携に努めます。
5. 効率的・効果的で透明性のある学部運営の推進

上記の目的を達成するために、効率的・効果的で活力ある学部運営を目指すと共に、積極的に情報を公開し、透明性のある学部運営を目指します。

本学部は、次に示す7学科からなります。また、大学院は自然科学研究科博士前期課程（標準修業年限2年，入学定員200名）及び自然科学研究科博士後期課程（標準修業年限3年，入学定員15名）として学生を受け入れています。

編入学者受入方針

- ・本学部の理念・目標に基づき、基礎となる理学，工学及び新たな視点による理工融合の専門分野の学修に熱意を持ち積極的に取組める人を求めます。
- ・本学部で修得する学識と良識を基に，新たな科学技術の開拓，国際交流の推進，よりよい社会の実現に貢献する意欲を持つ人を求めます。
- ・上記の受入方針の下に，多様な入試を行い，多様な能力を持つ人を受け入れます。
- ・3年次編入学者の募集では，在籍する又は在籍した教育機関における学修内容を，本学部の理念・目標に従ってさらに発展・深化させたいという意欲を持つ人を求めます。また，志願する学科の入学受入方針に従い，編入学後の教育を受けるのにふさわしい専門分野の基礎学力を備えた人を受け入れます。

物理工学科

本学科は，物理学の基礎に習熟するとともに，原子・分子レベルから物質の構造を調べたり，新しい性質を示す物質・デバイスを創成したりするための理学的・工学的応用能力を持った研究者，技術者の育成をめざす教育を行います。

・編入学者受入方針

物理学をより深く学びたい人，新しい機能を持つ物質を微視的な立場から仕組みを明らかにしたり，創製したりすること，またそれらの応用技術に興味のある人を求めています。

・編入学後の教育

本学科の教育プログラムは，物理学を基礎として，デバイス（電気・電子部品）などへの応用も視野に入れた構成がなされています。物理学を深く学びたい学生，物質の仕組みを明らかにすること，新しい機能を持つ物質を創ること，また，これらの応用技術に興味のある学生を求めています。本教育プログラムでは，物理学の基礎，物質の仕組み・機能，そしてこれらの応用技術を系統的に学びます。また，入学した学生が卒業するまで一貫した方針のもとで教育が受けられるように構成されています。基本方針は次の3つからなっています。

1. 産業化・情報化社会に対応できる総合的デザイン能力の育成
2. 国際化時代に必要なコミュニケーション能力の育成
3. 専門職に不可欠な基盤知識・技術，及び，問題解決型の応用能力の修得

・卒業後の進路

本学科を卒業した学生は，物理学をベースとした幅広い専門知識とその展開能力を活かせる職場での活躍が期待できます。具体的には，物理学の教員，電気・電子半導体・情報通信機器など広範囲の産業機器・新素材メーカー，官公庁，大学院への進学などが挙げられます。このように，理学部物理学科，工学部応用物理学系諸学科，材料系諸学科，電気電子系諸学科を卒業した学生に可能なすべての進路が開かれています。

また，大学院 物理・応用物理学コース修了者は，物事の本質の解明・新時代の技術の展開に携わる高度専門職業人あるいは研究者として職を得ることが可能です。近年は，学部卒業生の約半数が大学院に進学しています。

物質化学科

本学科は，化学系の理学及び工学分野から構成されています。理学と工学の交流により教育・研究の新たな展開が図られています。

・編入学者受入方針

自然現象や種々の物質に関心があり，物事を根本的なところから探求・理解することを志向する人，このために特に化学をより深く学びたい人，物質の仕組みを微視的な立場から明らかにすること，新しい機能をもつ物質を創ったり調べたりすること，またそれらの応用技術に興味のある人を求めています。また，専門科目を3年次から履修するために，大学2年次に相当する化学の基礎的な知識と応用力及び英語の基礎学力が必要です。

・編入学後の教育

教育はコース制で行われます。学科は70名程度からなり，基礎化学コースと機能材料化学コースの2コースに分かれます。機能材料化学コースは，技術者教育プログラム（JABEE教育プログラム）の認定基準に対応した教育プログラムです（平成19年度認定）。一方，基礎化学コースは，非JABEE教育プログラムです。履修コースの決定は，編入学時のコース希望調査アンケートに基づき

行います。コースを履修するには、物質化学科で開講される専門教育科目の基盤科目を8単位以上取得する（単位認定される）ことが必要です。

基礎化学コースでは、化学の基礎から応用に及ぶバランスの取れた幅広い知識を基に、様々な分野で活躍できる人材の育成を目的とする教育を行います。機能材料化学コースでは、化学の基礎的及び専門的知識を基に自主的に仕事を立案実行できる、幅広い知識と実践力を修得した国際的に通用する化学技術者の育成を目的とする教育を行います。

本学科では講義以外に演習・セミナー・実験を重視しており、それらを通して分析能力・論理的思考能力を養います。また、卒業研究では、具体的な研究テーマを実践する中で、より深い専門知識と同時に、自ら課題を発見し、問題を解決する素養を身に付けます。

・卒業後の進路

卒業後は、化学に関する幅広い専門知識とその展開能力を活かせる職場での活躍が期待できます。特に大学院修了者は、物質の成り立ちや働きの解明・新時代の技術の展開に携わる高度専門職業人あるいは研究者として職を得ることが可能です。具体的には、化学の教員、化成品・製薬関連企業、広範囲の産業機器・新素材メーカー、官公庁、大学院への進学などへの進路が開かれています。

地球科学科

本学科は、地球物質資源科学、地球環境科学、自然災害科学の3分野からなり、地質学・地球科学から社会のニーズに即した工学的分野にまたがる広い視野に基づいて、物事を考える能力の修得を学習・教育目標とした技術者教育プログラム（JABEE教育プログラム）を実施しており、国際的に通用する人材の育成を目指して教育・研究する学科です。地球物質資源科学分野では地球岩石圏を構成する物質（岩石・鉱物・鉱石）の性質及びその相互作用、循環システム、運動学、また、金属鉱床・石油などの地球資源の濃集過程の解明と利用、地球環境科学分野では、地層の形成に関する問題、地球環境と生物の変遷、現在起きている環境変化の地球史的把握と予測、自然環境の計測・評価・保全技術、自然災害科学分野では地盤・岩盤の諸性質の理解、地下水流動、地盤災害や火山災害などの自然災害発生メカニズムの解明と予測、防災工法など、についての教育・研究を行います。

・編入学受入方針

地球の生い立ちや岩石・鉱物・化石に興味があり、鉱床・石油等の形成過程と利用、過去から現在の地球環境の移り変わり、自然災害発生のメカニズムと防災手段などについて学び、これらの知識と経験を将来社会で役立てたいという意欲のある学生を求めています。

専門科目を3年次から履修するためには、地球科学に関する経験・体験と強い学習意欲、大学2年次生に相当する地学（気象と天文を除く）及び英語の学力が必要です。

このような方針に基づき、特に地球物質資源科学・地球環境科学・自然災害科学などに対する秀でた理解力と科学的思考能力を備え、かつ積極的に学修しようとする者を受け入れます。

・編入学後の教育

本学科では充実した最新の研究設備を駆使して教育・研究を行っています。また、国内・海外の地質見学をはじめ、実験・実習（野外実習を含む）を重視したカリキュラムを組んでいます。卒業論文研究を通じて、科学的観察力、思考力、判断力をもった、自主的・創造的な人材を育成します。

・卒業後の進路

地質・建設・土木・環境コンサルタント企業、金属・非金属・セラミックスなど資源・エネルギー関連企業、国・地方公務員、博物館学芸員、教員、また大学院への進学などの道が開けており、これまでに多数の卒業生が社会で活躍しています。

数理科学科

本学科は、理論的な数学を探究する数理基幹コースと他分野への関連や応用を学ぶ数理展開コースの2コースから構成されています。構造論的抽象数学や諸現象の数理科学的解析のための現代数学を教育・研究しています。現代数学の学習を通じて、論理的な思考力や柔軟な発想力、データ分析・活用力、そして豊かな表現力を持ち合わせた、様々な方面で指導的役割を果たせる人材を育成します。

・編入学者受入方針

本学科では、数学を通じて自然や社会のさまざまな現象を探究し、より良い社会を創ることを目指す学生を求めます。そのため、数学の基礎的知識と学力、及び適性と熱意を持つ学生を求めます。専門科目を3年次から履修するためには、線形代数、微積分及び集合論に関する基礎的知識と十分な学力が必要です。このような方針に基づき、大学2年次生に相当する数学の学力を備えた人を受け入れます。

・編入学後の教育

本学科では、さまざまな数学について幅広く、教育を行っています。これらの教育を通し、論理的な思考能力や問題の発見・分析・解決能力、柔軟な発想力を具えた人材を育成します。

また、大学院博士前期課程では、希望する学生に対し、東北師範大学（中国）の修士の学位を同時に取得できるダブル・ディグリープログラムを展開しています。

・卒業後の進路

金融・保険・教育・情報処理関連などの企業、数学の教員、公務員など多方面への進路が開かれています。また、大学院へ進学し、さらに深い専門的知識を習得することもできます。

知能情報デザイン学科

本学科は、情報システムデザインコースとデータサイエンスコースの2コースから構成されています。理論から応用、ソフトウェアからハードウェア、ネットワークやセキュリティ、データサイエンスなど多岐におよぶ研究・教育を行っています。

・編入学者受入方針

自然科学の幅広い知識に加え、情報科学・工学の学問や技術を生かして、より良い社会を創りたいと思っている学生、またこれからの高度情報化社会をリードする技術者として地域や世界において活躍したいと考えている学生を受け入れます。

専門科目を3年次から履修するためには、基本的なプログラミング能力、数学の基礎学力、コンピュータネットワークに関する基礎知識を備えている必要があります。このような方針に基づき、一般入試では大学2年次の本学科学生に相当する学力を備えた方を、推薦入試では成績が上位で、特に情報工学に熱意を持つ方を受け入れます。

・編入学後の教育

編入学生は情報システムデザインコースまたはデータサイエンスコースのいずれかを選択します。情報システムデザインコースでは情報システム構築のためのソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク技術を、また、データサイエンスコースではデータサイエンスや知能コンピューティングといった知識発見や知能情報処理に関する科学的・工学的手法を学習します。また、企業との連携によるプロジェクト学習において情報技術の手法の実践にも取り組みます。

・卒業後の進路

ソフトウェア関連企業を含む情報通信系企業や、製造・流通・金融・保険・教育関連の企業、情報の教員、公務員、または大学院への進学などの進路が開かれています。

機械・電気電子工学科

本学科は、機械工学と電気電子工学の2分野を融合した学科です。これらの分野の核心的基礎を幅広く学習した上で、各分野に対応するコースの専門科目をより深く学ぶことにより、高度情報化社会を支える技術者として必要な専門性を修得し、激動の21世紀で活躍できる人材の育成を目指しています。

「機械工学分野」では、産業ロボット用歯車装置の設計・解析、乗り物やエンジンの流体設計、粉体を中心とした物質の力学的解析と制御、先進材料や柔軟構造の力学解析と設計、音響振動計測、移動ロボットや搬送台車の制振搬送制御、共振現象の解析と振動の低減、「電気電子工学分野」では、光ファイバ通信、光センシング技術、光応用計測、高度なパワエレクトロニクスと計算知能を備えた高効率モータ駆動や再生可能エネルギーシステム、生体信号処理などに関する教育・研究を行います。

詳細については、学科ホームページ <http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/> をご覧ください。

・編入学者受入方針

本学科では、機械・電気電子工学の基礎知識とともに、自然科学に関する幅広い教養を持ち、課題解決能力や自律的学習能力、説明・説得力を備え、設計・製作能力を有し、高い倫理観をもって社会に貢献できる技術者になりたいと考えている人を受け入れます。

・編入学後の教育

本学科では、2分野間の強い連携のもとに、3年次までには学科共通の専門科目に加えて、機械工学あるいは電気電子工学のいずれかの分野について、さらに専門性の高い科目を学習します。4年次には卒業研究を履修し、卒業論文を執筆します。講義だけでなく実験演習科目を通じて、現実的な課題を解決する工学的デザイン能力を身につけることが学習・教育目標です。

・卒業後の進路

卒業後は、自動車、精密機械、重電機、電力、OA機器、家電、AV機器、コンピュータ及び情報処理関連の企業や国家・地方公務員など多方面への就職が可能です。さらに大学院へ進学し、より深い専門知識の修得と高度な最先端の研究を目指すこともできます。

詳細については、学科ホームページ<http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/>をご覧ください。

建築デザイン学科

建築学は、「計画」、「構造」、「環境」の3つの分野に分けられ、「計画」は建築計画、都市計画等、「構造」は構造材料、耐震構造、構造解析等、「環境」は音環境、光環境、熱環境等を対象としています。本学科の1・2年次では、設計製図やCADを含めた建築に関する幅広い分野の基礎知識を学ぶことができ、3・4年次では、「建築計画デザインコース」と「建築構造・住環境コース」の2つのコースに分かれ、より専門的に学ぶことができます。こうした教育や研究を通じて、安全で快適な建築の創造を目指し、地域に根ざした建築空間づくりに貢献できる人材を育成します。

また、本学科の教育内容は国家資格である建築士の受験資格の認定を受けており、卒業時には建築士の受験資格を得ることができます。

・編入学者受入方針

建築デザイン学科では、工学だけでなく文化や自然環境も大切にしたい持続可能な社会を実現するために、伝統的な木造建築から現代建築まで、理論・計画デザイン・環境・構法・構造を幅広く学ぶことにより、トータルな「設計」技術を習得し、建築に関連するフィールドワークを通して得た実践的な知識とともに地域社会に貢献する意欲を持つ人を受け入れます。

専門科目を3年次から履修するためには、大学2年生に相当する基礎学力、建築に対する基礎知識および高い学修意欲が必要です。

このような方針に基づき、一般入試では基礎学力と高い学修意欲を備えた人を、推薦入試では学業成績及び人物が優秀な上に高い学修意欲を備えた人を受け入れます。

・編入学後の教育

編入学生は編入学当初から、「建築計画デザインコース」と「建築構造・住環境コース」に分かれて学習を進めることになります。なお、いずれのコースとも卒業時には建築士の受験資格が得られます。

3年次の後期からは研究室に所属し、指導教員のもとで様々な実践的なプロジェクトや実験・調査を通じた研究に取り組むことで専門性を高めることができます。

・卒業後の進路

卒業後は、総合建設業（ゼネコン・サブコン）、設計事務所、住宅メーカー、国家・地方公務員などへの就職が可能です。さらに大学院へ進学し、より深い専門知識の修得と高度な研究を行うこともできます。

2 総合理工学部の卒業要件

科 目 区 分			最低修得単位数	備 考
基 礎 科 目	外 国 語	英 語	4	
		初 修	4	ドイツ語，フランス語，中国語，韓国・朝鮮語から選択
	健 康 ・ ス ポ ー ツ / 文 化 ・ 芸 術		2	健康スポーツ，芸術文化Ⅰのいずれかを選択
	情 報 科 学		2	
	数理データサイエンス		2	
教 養 育 成 科 目			12	
自 由 選 択 科 目 Ⅰ			2～10	学科毎に単位数を定める。
小 計			30～36	
専 門 教 育 科 目			84～94	学科毎に基盤科目，専門必修，専門選択，専門自由を指定する。
自 由 選 択 科 目 Ⅱ			2～6	学科毎に単位数を定める。
合 計			124	

備考

- 1 自由選択科目Ⅰは，基礎科目，教養育成科目の中から選択して履修します。
- 2 自由選択科目Ⅱは，基礎科目，教養育成科目及び専門教育科目の中から選択して履修します。

松江キャンパス案内図

(1) 位置図



(2) 交通案内

鉄道	J R 新幹線	新大阪ー岡山 (約45分) 名古屋ー岡山 (約1時間40分) 東京ー岡山 (約3時間25分) 博多ー岡山 (約1時間45分) 博多ー新山口 (約35分)	J R 在来線	岡山ー松江 (約2時間35分) 新山口ー松江 (約3時間50分)
	航空路線	名古屋ー出雲空港 (約1時間) 大阪ー出雲空港 (約1時間) 東京ー出雲空港 (約1時間20分) 静岡ー出雲空港 (約1時間20分) 福岡ー出雲空港 (約1時間5分) 東京ー米子空港 (約1時間20分)	空港連絡バス	出雲空港ーJ R松江駅 (約30分) 米子空港ーJ R松江駅 (約45分)
高速バス		広島 (広島) ー J R松江駅 (約3時間10分) 岡山 ー J R松江駅 (約3時間) 神戸 (三宮) ー J R松江駅 (約4時間30分) 大阪 (梅田) ー J R松江駅 (約4時間40分) 京都 ー J R松江駅 (約5時間) 福岡 ー J R松江駅 (約8時間) 名古屋 ー J R松江駅 (約9時間) 東京 (渋谷) ー J R松江駅 (約10時間25分)		

J R松江駅から島根大学松江キャンパスへの路線バス

- 市営バス：北循環線内回りへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約15分)
- 市営バス：島根大学・川津行きへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約20分)
- 一畑バス：美保関ターミナル行きへ乗車～「島根大学前」で下車 (所要時間約20分)

総合理工学部の各学科でホームページを公開していますので、こちらも参考にしてください。
URLは、次のとおりです。

総合理工学部

<https://www.riko.shimane-u.ac.jp/>

理工学科

<https://www.phys.shimane-u.ac.jp/>

物質化学科

<http://www.chem.shimane-u.ac.jp/>

地球科学科

<https://www.geo.shimane-u.ac.jp/>

数理科学科

<https://www.math.shimane-u.ac.jp/>

知能情報デザイン学科

<https://www.riko.shimane-u.ac.jp/subject/cis.html>

機械・電気電子工学科

<http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/>

建築デザイン学科

<http://kenchiku-seisan.jp/>

入試情報

<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

< 入学試験に関する問合せ先 >

島根大学松江地区学部等事務部学務課
(総合理工学部入試担当)

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

電 話 0852-32-6042

電子メール sad-nyushi03@office.shimane-u.ac.jp

URL <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>